

東大和市健康増進計画
平成29年度実施状況報告書



東京
ゆったり日和
東やまと

東大和市健康増進計画 基本理念

生涯にわたって
健康でいきいきと
豊かな人生を
おくれるまち
東大和

はじめに

東大和市は、市民の皆様が心身ともに健康でいきいきとした豊かな生活を送ることを目指して、平成27年3月に「東大和市健康増進計画」（以下「計画」という。）を策定し、その基本理念を「生涯にわたって 健康でいきいきと豊かな人生をおくれるまち 東大和」として、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、市全体で健康づくりに関連する様々な施策に取り組んでいます。

このたび、作成した本報告書は、計画第5章第3節「計画の進行管理（計画の評価と見直し）」に基づく年次報告書として、平成29年度に実施した各施策の具体的な事業実績をまとめたものです。

これらの事業実績を踏まえ、計画に掲げた各事業の着実な推進と充実を図り、計画の本旨に沿い、市民の皆様が活力のある豊かな生活を送ってくださるようさらなる健康増進の推進に向け取り組んでまいります。

平成31年3月



～目 次～

I	計画の概要	1
II	評価指標の関連基本データ	6
III	実施状況調査	7
1.	各分野ごとの各部別事業数	7
2.	各分野ごとの評価結果	8
3.	実施状況調査結果の概要	9
4.	地域福祉審議会 答申[抜粋]	1 1
5.	実施状況調査結果	
	第1節 生活習慣の改善と推進	
1	栄養・食生活、食育の推進[分類番号1-①]	1 2
2	身体活動・運動[分類番号1-②]	1 3
3	休養[分類番号1-③]	1 5
4-1	飲酒[分類番号1-④-1]	1 6
4-2	喫煙(3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)[分類番号1-④-1]	1 7
5	歯と口の健康づくり	1 8
	第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備	
1	こころの健康・働く世代の健康づくり[分類番号2-①]	1 9
2	次世代の健康・母子保健対策の推進[分類番号2-②]	2 1
3	高齢者の健康[分類番号2-③]	2 7
4	社会環境整備[分類番号2-④]	3 1
1	第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防	
1	がん対策の推進[分類番号3-①]	3 3
2	糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進[分類番号3-②]	3 4
3	循環器疾患の対策[分類番号3-③]	3 6
4	「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策[分類番号3-④]	3 7

I 計画の概要

1. 東大和市健康増進計画について

本計画は、健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」であり、食育基本法に定める「市町村食育推進計画」、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」を包含し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指して計画期間を平成27年度から平成32年度までの6年間としています。

2. 計画の体系

(1) 概要

「生活習慣」「ライフステージ」「発症予防と重症化予防」の三つの分野から構成されています。

分野別目標

施策

1 生活習慣の改善の推進

- ・ 1 栄養・食生活、食育の推進（食育推進計画）
- ・ 2 身体活動・運動
- ・ 3 休養
- ・ 4 飲酒・喫煙（COPDの対策含む）
- ・ 5 歯・口腔の健康づくり

2 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

- ・ 1 こころの健康・働く世代の健康づくり
- ・ 2 次世代の健康：母子保健対策の推進（母子保健計画）
- ・ 3 高齢者の健康
- ・ 4 社会環境整備

3 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防

- ・ 1 がん対策の推進
- ・ 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- ・ 3 循環器疾患の対策
- ・ 4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策

(2) 分野ごとの施策目標と取り組み（役割の分担）

①生活習慣改善の推進—五つの重点項目から構成されています。

4-1 飲酒

- ・飲酒が及ぼす健康への影響について普及啓発します。
- ・未成年、妊婦・授乳中の女性への飲酒防止を推進します。
- ・相談体制の整備を図ります。
- ・未成年者の飲酒禁止と、飲酒が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。

4-2 喫煙 （「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

- ・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。
- ・禁煙しやすい環境の整備を図ります。
- ・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。
- ・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

5 歯と口腔の健康づくり

- ・切れ目ない子どもの歯科保健の充実を図ります。
- ・成人歯科保健の充実を図ります。
- ・高齢者・障害者の歯科保健の推進を図ります。
- ・かかりつけ歯科医の推進を図ります。
- ・正しい口腔ケアを指導し、習慣付けます。
- ・歯と口腔の健康が、全身の健康と密接に関わっていることを教育活動を通して普及啓発に努めます。

1 栄養・食生活、食育の推進 東大和市食育推進計画

- ・食生活に関する知識の普及・促進に努めます
- ・健康的な食生活を実践しやすい環境の整備を進めます。
- ・食の安全・安心につながる正しい情報提供を図ります。
- ・全校食育授業を実施します。

2 身体活動・運動

- ・身体活動（生活活動・運動）に関する普及啓発に努めます。
- ・身体活動をしやすい環境の整備に努めます。
- ・生活習慣病対策との連動の促進、情報提供に努めます。
- ・子どもの望ましい生活習慣について、子どもと保護者への普及啓発に努めます。
- ・子どもが望ましい生活習慣を身に付けられる環境の整備に努めます。
- ・運動に親しむ取組を推進し、1校1運動や学校間運動交流の実施に努めます。

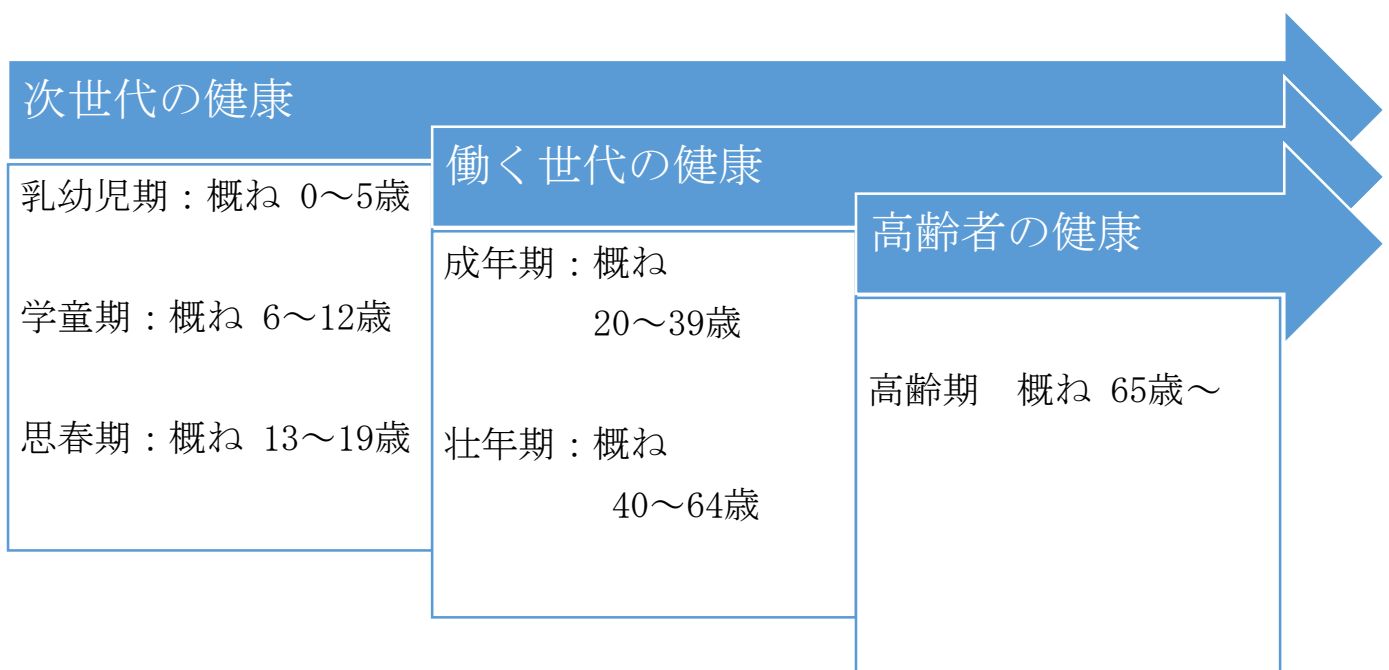
3 休養

- ・適切な睡眠の意義や睡眠のとり方の普及啓発に努めます。
- ・余暇活動の充実を推進します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基礎的な生活習慣の確立に努めます。
- ・家庭と協力して、適切な睡眠が取れるように努めます。

② ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり	2 次世代の健康 母子保健対策の推進 東大和市母子保健計画	3 高齢者の健康	4 社会環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・ストレス対処法等の知識の普及啓発に努めます。 ・こころの健康づくりを支える体制づくりの推進を図ります。 ・こころの健康づくりにつながる地域活動の支援の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実を図ります。 ・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実を図ります。 ・子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進を図ります。 ・子育て中の親への支援体制の整備（育てにくさを感じる親に寄り添う支援）を図ります。 ・児童虐待発生予防対策の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりの普及啓発をします。 ・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりに取り組みやすい環境の整備の推進を図ります。 ・介護予防事業等によって地域の高齢者の健康状況等を把握し、実情に応じた事業を実施します。 ・（東大和市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき実施します。） ・高齢社会に対する教育の一環として、高齢者との交流の推進に努めます。 ・生涯にわたって健康な生活を送れるよう、進んで運動に取り組む教育を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりと健康状態が関係することについて、普及啓発を行います。 ・地域のつながりを醸成します。 ・地域活動に健康づくりの視点を入れ、活動を支援します。 ・児童・生徒や教職員の地域行事への参加や地域住民の学校活動への参加を通じて、地域のつながりを醸成します。

3 区分のライフステージで構成されています。



③ 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 4 疾病で構成されています。

1 がん対策の推進	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進	3 循環器疾患の対策	4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策
<ul style="list-style-type: none">・がん予防に関する正しい知識を普及します。・がん予防に取り組みやすい環境を整備します。・がん検診等を実施し、受診率と検診の質を向上させます。・健康教育をより一層充実するとともに、望ましい生活習慣の育成に努めます。	<ul style="list-style-type: none">・糖尿病・メタボリックシンドロームを予防する生活習慣などに関する知識を普及します。・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。・特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療健康診査を実施します。・健康に対する関心を高め、主体的に健康を保持・増進する態度を養います。	<ul style="list-style-type: none">・循環器疾患を予防する生活習慣に関する知識を普及します。・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。・早期発見・早期治療のために成人健康診査を実施します。・「生活習慣チェックリスト」や「自己点検表」などを作成し、子ども自身が進んで生活習慣を改善できる資質・能力を育成していきます。・養護教諭や学校医等が中心となって学校全体で生活習慣の改善が促進されるよう取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣の改善の推進4－2喫煙に準じます。・〈再掲〉・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。・禁煙しやすい環境の整備を図ります。・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

3. 計画の基本理念

「東大和市健康増進計画」の基本理念は、WHO（世界保健機関）が提唱した「ヘルスプロモーション」の考えた方に立って定められています。

ヘルスプロモーション：WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した21世紀の健康戦略です。「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されています。「すべての人々があらゆる生活舞台上で健康を享受することのできる公正な社会の創造」を健康づくり戦略の目標としています。

目標実現のための活動方法として、「健康な公共政策づくり」、「健康を支援する環境づくり」、「地域活動の強化」、「個人技術の強化」、「ヘルスサービスの方向転換」を柱としています。活動の大きな特徴は、「住民や当事者の主体性を重視していること」、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えること」に重点がおかれています。

<参考資料：地域における健康日本21実践の手引きより>

4. 計画の目標数値の設定

総合目標を達成するため、分野ごとに指標となる数値を設定しました。
数値は、国や都が策定した関連計画の目標値を原則としました。



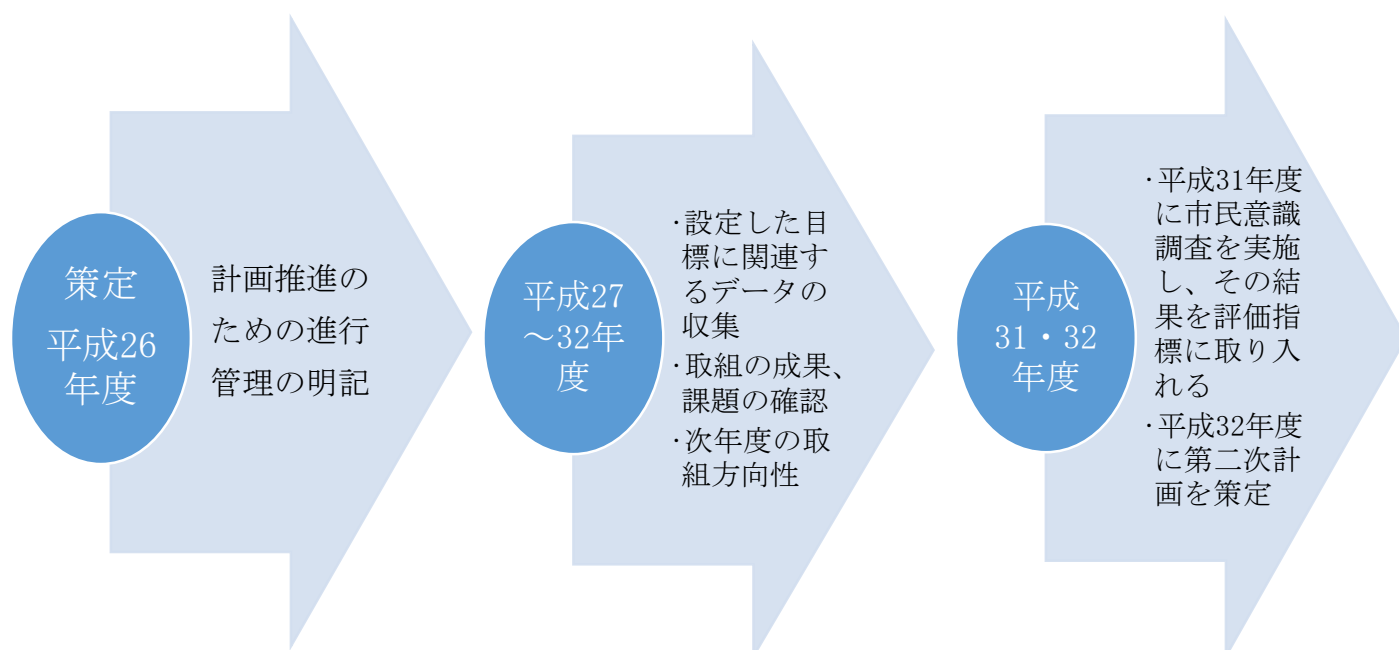
施策の目標

市民意識調査結果や各種統計資料から抽出した健康課題に対応する内容としました。



5. 計画の進行管理

健康づくりに関連した施策の推進を図るとともに、各年度の事業の実績・進捗について、地域福祉審議会に、報告し、意見を聴き、計画の進行管理や評価を行います。



II 評価指標の関連基本データ

北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年度版

(単位:人)

1		H30/1/1	H29/1/1	H28/1/1	H27/1/1	H26/1/1
	人口	85,718	85,945	86,101	86,162	85,297
	世帯	38,544	38,291	37,966	37,742	37,108

2		0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～	
	年齢構成比	H30/1/1	13.3%	60.3%	26.4%
		H29/1/1	13.4%	60.8%	25.8%
		H28/1/1	13.5%	61.2%	25.3%
		H27/1/1	13.5%	61.9%	24.6%

(単位:人、%)

3		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
	出生数	692	792	682	680
	合計特殊出生率	1.48	1.67	1.37	1.40
	低出生体重児率	9.4	8.7	8.2	10.6

(単位:歳)

4		A		B		
		男	女	男	女	
	65歳健康寿命	H27年度	83.1	86.3	81.5	82.9
		H26年度	83.0	86.0	81.4	82.8
		H25年度	82.6	85.6	81.3	82.7

※Aは「要介護2以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

※Bは「要支援1以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

(単位:歳)

5		男	女	
	平均寿命	H27年度	80.9	87.2
		H26年度	80.8	86.9
		H25年度	80.5	86.2

(単位:人・%) ※千分率

6		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	死亡数	742	771	668	685	697
	死亡率	8.7	9.2	7.8	8.2	8.3

標準死亡比(平成27年)		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	心疾患	脳血管疾患
基準集団:	男	103.9	89.9	138.3			80.3	138.2
東京都(100)	女	45.6	136.9	122.7	62.4	73.3	96.2	144.0

7		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	特定健康診査受診率	51.6%	52.4%	52.2%	51.4%	50.5%
	保健指導実施率	11.3%	11.3%	19.0%	8.0%	8.5%
	健康診査受診率(特定健診除く)	35.9%	31.2%	29.4%	28.5%	27.5%

(単位:件)

8		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	妊娠届出数	-	716	797	689	684
	新生児訪問	599	683	622		
	児童相談所受理件数	180	173	168	140	135

(単位:千円)

9	特別会計当初予算	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	国民健康保険	10,977,178	10,919,443	9,621,668	9,470,231	8,946,963
	後期高齢者医療	1,814,760	1,736,012	1,641,762	1,553,864	1,478,697
	介護保険	6,003,325	5,444,247	5,390,594	4,717,585	4,297,139

※各分野ごとのページに掲載しているデータは「北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年度版(東京都多摩立川保健所編集・発行)」から抜粋しています。

I 実施状況調査 1. 各分野ごとの各別事業数

分野別 目標	部		企画財政部	市民部	総務部	福祉部	子育て支援部	環境部	都市建設部	学校教育部	社会教育部	その他	計
	施策												
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進	1		1		5					2		8
	2 身体活動・運動	2		2		2	2	1		3	3		13
	3 休養					1							1
	4-1 飲酒					1							1
	4-2 喫煙 (3-④)「COPD」慢性閉塞性 肺疾患対策を含む)					1						1	2
5 歯と口の健康づくり					6								6
第2節 ライフスタイル づくりと健康を支えた	1 こころの健康・ 働く世代の健康づくり				4	5	1			2	3		15
	2 次世代の健康・ 母子保健対策の推進					17	12			8	3		40
	3 高齢者の健康			3		15					3		21
	4 社会環境整備			3		6		2			2		13
第3節 主な生活習慣 病の発症	1 がん対策の推進					2							2
	2 糖尿病・ メタボリックシンドローム予防 対策の推進			3		6							9
	3 循環器疾患の対策					1							1
	4 「COPD」 慢性閉塞性肺疾患の対策 (再掲)					1						1	2
計		0	12	4	69	15	2	1	13	16	2	134	

Ⅲ 実施状況調査 2. 各分野ごとの評価結果

分野別 目標	施策	結果	事業数	3 順調	2 概ね順調	1 着手	住民や当事者の主体性を重視した	各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進		8		7	1	6	1
	2 身体活動・運動		13	8	3	2	5	8
	3 休養		1			1	1	
	4-1 飲酒		1			1	1	
	4-2 喫煙 (3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)		2	1		1	1	1
	5 歯と口の健康づくり		6	1	5		4	2
	小計		31	10	15	6	18	12
第2節 健康的な生活環境の整備 を支援した	1 職場の健康・働き世代の健康づくり		15	7	8		5	13
	2 次世代の健康・母子保健対策の推進		40	22	17	1	16	23
	3 高齢者の健康		21	12	9		5	16
	4 社会環境整備		13	2	11		7	7
	小計		89	43	45	1	33	59
第3節 予防及び生活習慣病の予防	1 がん対策の推進		2		2		1	1
	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進		9	2	6	1	3	6
	3 循環器疾患の対策		1			1	1	
	4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策 (再掲)		2	1		1	1	1
	小計		14	3	8	3	6	8
	計		134	56	68	10	57	79

3. 実施状況調査結果の概要

平成29年度の実施事業については、地域福祉審議会の答申に基づき、実施事業の評価に、開催回数や参加人数などの数値のみではなく、いかに取り組んだか、という手段の工夫や、どのような効果があったかなど事業の検証の視点を加え、調査を実施した。

事業の参加者の地域ごとの割合など、地域の特性の分析は可能な範囲で評価に加えた。

(1) 調査結果表の見方：分類番号は、下記一覧の中から該当する主目的を各課が選択

- 1-①： 栄養・食生活、食育の推進
- 1-②： 身体活動・運動
- 1-③： 休養
- 1-④-1： 飲酒
- 1-④-2： 喫煙
- 1-⑤： 歯と口の健康づくり
- 2-①： こころの健康・働く世代の健康づくり
- 2-②： 次世代の健康・母子保健対策の推進
- 2-③： 高齢者の健康
- 2-④： 社会環境整備
- 3-①： がん対策の推進
- 3-②： 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- 3-③： 循環器疾患の対策
- 3-④： 「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策

・実施状況については各課が下記から選択

3：順調

2：おおむね順調

1：着手

※評価と理由欄には「課題、前年度と比較して工夫した点、参加者の地域特性」を重要な視点として各課が作成した。

・「ヘルスプロモーション」の視点の有無について各課が選択

<視点及び回答>

1や2に該当する視点がある場合は、該当する数字に○、ない場合は、3に○

1 住民や当事者の主体性を重視した

2 各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

(2) 各分野ごとの各部別事業数

①「第1節 生活習慣の改善」

- ・市民部、福祉部、子育て支援部、都市建設部、学校教育部、社会教育部の6つの部において31の関連事業が実施されていた。
- ・最も多い項目は「身体活動・運動」の13事業で、6つの部すべてにおいて事業が実施されていた。
- ・次いで多い項目は「栄養・食生活、食育の推進」の8事業であり、市民部、福祉部、社会教育部において実施されていた。
- ・その他の項目は、施設管理各課で実施されていた。

②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・事業実施数は、全分野を合わせた134の全ての事業のうち、最も多い89事業が実施され、66.4%を占めていた。
- ・企画財政部と都市建設部を除いた各部において、関連事業が実施されていた。
- ・89事業のうち、担当部署ごとの事業実施数は、福祉部の43事業が最多で、次いで子育て支援部の13事業、社会教育部の11事業、学校教育部の10事業となり、4つの部でそれぞれ二桁以上の事業が実施されていた。
- ・事業のうち、最も多い項目は「次世代の健康・母子保健対策の推進」の40事業であり、福祉部、子育て支援部、学校教育部、社会教育部の4つの部において実施されていた。
- ・次いで多い項目は「高齢者の健康」の21事業で、市民部、福祉部、社会教育部の3つの部において実施されていた。
- ・「こころの健康・働く世代の健康づくり」は15事業、「社会環境の整備」は13事業となっており、総務部では、「こころの健康・働く世代の健康づくり」の関連事業が、環境部では「社会環境の整備」の関連事業が実施されていた。
- ・福祉部、社会教育部では、4つの項目全てにおいて、関連事業が実施されていた。

③「第3節 生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・市民部、福祉部の2つの部において、14の関連事業が実施されていた。2つの部において、「糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進」の関連事業が実施されていた。

(3) 各分野ごとの評価結果

①「第1節 生活習慣の改善と推進」

- ・31の関連事業のうち、「2概ね順調」が15事業と最も多く、ついで「3順調」が10事業であった。

- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、18事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、12事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・89の関連事業のうち、「2概ね順調」が45事業と最も多く、ついで「3順調」が43事業であった。
- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、33事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、59事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

③「第3節 生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・14の関連事業のうち、「2概ね順調」が8事業と最も多く、「3順調」と「1着手」が同数で3事業であった。
- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、6事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、8事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

4. 地域福祉審議会 答申[抜粋]

実施状況報告については、「評価と理由」の欄に、新たに「課題」や「前年度と比較して工夫した点」などの記載が追加されたことで、取組内容のプロセスの明確化が図られ、また、ヘルスプロモーションの視点の取り入れによる意識の向上など、充実が図られており、今後も報告書の課題を反映し、適切な事業管理を行ってください。

今後、各事業の評価にあたっては、ヘルスプロモーションを重要な視点として位置づけ、これまでの評価区分についてはその要否も含め、検討をしてください。

また、年度ごとの実施事業報告書を、平成32年度に行う「東大和市健康増進計画」の総合評価や、第2次の計画を策定するための、経年的な資料として活用できる内容にしてください。

健康づくりは、実践の継続と環境の整備が重要であることから、市民の主体的な力を伸ばすような取組を進めてください。また、保健指標などデータの活用や新たな健康課題についても積極的に取組を進めてください。

5. 平成29年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

評価の基準

- 3: 順調
- 2: 概ね順調
- 1: 着手

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

1 栄養・食生活、食育の推進【分類番号 1-①】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	ヘルス プロモーション	担当課
1-① 1	農業振興対策 ・体験事業	市民に農作物の収穫等を体験してもらうことにより、農業及び農作物への関心及び理解を一層深め、もって都市農業や地産地消の推進を図った。 参加者合計282人	2	参加者と農業者の交流を図り、また健康課栄養士による食育に関する講義を行うなど、安心安全な食に関する意識の啓発を図った。参加者においては、市内の小・中学生とその親を対象としており、収穫体験を通じて、市内農業の認知度の向上も図っている。	1 ・ 2 ・ ③	産業 振興課
1-① 2 新規	公民館活動	上北台公民館事業 保育付講座「子どもは食べて、育つ」 全10回 延135名	2	参加者の食品の選び方、子どもの食事の考え方について熱心な質問が多かったため。参加者は全市域からみられた。	① ・ 2 ・ 3	中央公 民館
1-① 3 新規	公民館活動	上北台公民館事業 次世代育成講座「3才でもとうふがきれるキッズキッチン」 全1回 20名	2	保育付講座で学んだ「子どもが料理する」を実践したため。参加者は全市域からみられた。	① ・ 2 ・ 3	中央公 民館
1-① 4	離乳食講習会 幼児食講習会	乳幼児期の食事のあり方や栄養についての知識の普及を図った。 離乳食講習会 22回 参加者229人 (個別相談 58件) 幼児食講習会 3回 参加者30人 (個別相談 11件)	2	教室後のアンケートを参考に家庭でも作りやすい方法を重視し提供した。他職種とも連携し個別相談(栄養、保健、歯科)を行った。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 5	親子料理教室	小学生と保護者対象に実施 2回実施 参加者数59人	2	教室後のアンケート結果参加者の要望を取り入れた。調理に興味がある子の参加が多い。対象年齢以外(未就学)の希望者も数名みられた。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 6	生活習慣病 予防教室	①生活習慣病予防教室 生活習慣病予防のための食生活について、講話と調理実習を実施 年2回 延47人	1	リピーターの参加が多いため若年層健康診査(20~39歳)受診者でリスクのある人に案内を送付し、保育付き事業とした。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 7	食育推進事業	幅広い食育をテーマにした教室を実施した。 4回実施 参加者数 46人	2	教室後のアンケート結果から取り上げるテーマ等考慮した。周知方法として、小中学校にチラシやポスターを配布した。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 8	食育 ネットワーク 会議	年3回開催 主な内容：①健康のつどい 「食育推進コーナー」について ②健康的なスイーツについて ③平成30年度の取り組み内容について	2	健康的なスイーツについて、講師に助言をいただき、市民に健康的なスイーツの試食を提供し、健康的な間食の摂り方を普及したため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進 2 身体活動・運動【分類番号1-②】						
分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	ヘルス プロモー ション	担当課
1-② 1	観光推進事業 うまかんべ～ 祭「うまかん べ～ウォーキ ング」	平成29年度も、西武鉄道及び多摩都 市モノレールとの共催により、うま かんべえ～祭と同時開催でウォーキ ングイベントを実施した。	3	平成29年度も、うまかんべえ～ 祭と同時開催で実施し、1,267 人の参加者があった。参加者に おいては半数以上が市外から の参加のため、毎年、コースを 変更することで市内の様々な所 を巡り、市内を知っていただく機 会としている。	1 ・ 2 ・ ③	産業 振興課
1-② 2	スイーツ ウォーキング	市内を2つのコースに分け、各コー ス約8～11kmの道のりを、市内にあ るスイーツ（和洋菓子パン等）取扱 店を巡りながら当市の魅力を再発見 してもらうウォーキングを実施し た。	3	平成29年度についても、市内を 2コースに分け、各コース300人 （計600人）定員として実施した。 計490人の参加があった。また、 コースの設定において、家族で も歩けるファミリー向けのコース や、しっかりウォーキングができ るコース等、毎年、コース設定 において工夫をしているため、 参加者のリピーターが多く、市 外からも多くの参加がある。	1 ・ 2 ・ ③	産業 振興課
1-② 3	児童館運営事 業 ・クラブ活動	各児童館において、小学生を対象に クラブ活動を実施した。 総クラブ数4事業 参加延べ人数1,300人	2	前年度より参加延べ人数が 微増（44人増）したため。 運動系クラブの実施によ り、運動習慣の定着の一助 となったため。	1 ・ ② ・ 3	青少年 課
1-② 4	児童館運営事 業 ・各種行事	各児童館において、地域の団体やボ ランティアの協力を得ることに努 め、季節に沿った行事などを実施し た。 総行事数96件 参加延べ人数10,693人	2	前年度より総行事数が2 件、参加延べ人数が2,134 人増加したため。 一部の事業で運動を取り入 れることによって、運動習 慣の定着の一助となったた め。	1 ・ ② ・ 3	青少年 課
1-② 5	都市計画 事務事業 ・ウォーキン グマップの 印刷配布	市民等が市の自然や文化財に親しみ ながら街の散策を行えるようウォー キングマップの印刷・配布を行っ た。	3	平成29年度も市内各駅の ラック等を利用し、下記の 部数を配布したため。 郷土博物館編：2,070部 多摩湖編：2,380部 野火止用水編：4,070部 桜が丘編：1,670部	1 ・ 2 ・ ③	都市 計画課
1-② 6	学校行事 ・部活動等運 営支援事業 ・第42回中学 校体育大会	市内中学校部活動（バトミントン、 ソフトテニス、卓球、バスケット ボール、野球、サッカー、バレー ボール、硬式テニス）の大会を支援 した。	3	大会は、部活動の日頃の練 習成果を発揮する機会であ り、心身の成長の一助と なっているため。今後は安全 面（熱中症対策等）にも より留意していく必要がある。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課
1-② 7	学校行事 ・部活動等運 営支援事業 ・第9回中学生 「東京駅伝」 大会	市内中学校の部活動から選抜された 42名の選手について、都立東大和 高等学校陸上部との合同練習や、団 結式を行うための支援をした。	3	部活動等の練習の成果を発 揮するため、5回の練習に 生徒が意欲的に参加でき るように支援し健康増進や体 力の向上、競技力の向上を 図ることができたため。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
1-② 8	子どもの体力 向上推進事業	希望する小・中学校において体力向上・運動習慣定着を目指す特別授業（走り方教室等）を実施した。 市内小学校3校・中学校3校で実施	3	家庭でもできる運動を取り入れ、体を動かすことへの関心や意欲を高めることができたため。 今年度は中学校でも走り方教室を実施し対象範囲を広げた。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課
1-② 9	スポーツ推進 委員活動事業	平成29年度においては、特に障害者スポーツである「ボッチャ」に力を入れ、市内障害者施設を対象に2回の体験会と1回の市内大会を開催した。	3	前年度は、土日開催であったためあまり人が集まらなかったが、今年度は都合の良い日程を各施設と事前調整をし、延べ115人が集まったため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 10	スポーツ振興 事業	市民の間にスポーツを振興し、あわせて健康増進・体力向上及び相互交流を図るため、420チームが参加した多摩湖駅伝をはじめ、様々なスポーツ活動を実施した。	2	多くのイベントを開催しているが、特に多摩湖駅伝大会では季節外れの大雪の中実施した。 また、東京都の補助金を活用し、オリパラの機運醸成と駅伝大会を盛り上げるため、ゲストランナーを招致したことで大会の活性化を図ったため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 11	体育施設運営 事業	平成29年度は東京都の補助金等を活用し、市民体育館冷房設備設置工事や上仲原公園野球場改修工事を実施した。	3	指定管理者や団体と細かく調整したことでスムーズに工事を実施することが出来たため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 12	いきいき ヘルシー教室	いきいきヘルシー教室 年2回 延53人（女性50人男性3人）	1	幅広い年代に周知するため市内の商業施設にポスターを掲示した。男性の参加が少ない。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-② 13	骨粗鬆症検診	対象者：40～70歳の5才節目の女性 受診者数 154人	1	健康カレンダーや市報で周知したが受診者の増加が見られなかった。厳寒期を避けるなど実施時期の工夫について検討する。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
1-② 8	子どもの体力 向上推進事業	希望する小・中学校において体力向上・運動習慣定着を目指す特別授業（走り方教室等）を実施した。 市内小学校3校・中学校3校で実施	3	家庭でもできる運動を取り入れ、体を動かすことへの関心や意欲を高めることができたため。 今年度は中学校でも走り方教室を実施し対象範囲を広げた。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課
1-② 9	スポーツ推進 委員活動事業	平成29年度においては、特に障害者スポーツである「ボッチャ」に力を入れ、市内障害者施設を対象に2回の体験会と1回の市内大会を開催した。	3	前年度は、土日開催であったためあまり人が集まらなかったが、今年度は都合の良い日程を各施設と事前調整をし、延べ115人が集まったため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 10	スポーツ振興 事業	市民の間にスポーツを振興し、あわせて健康増進・体力向上及び相互交流を図るため、420チームが参加した多摩湖駅伝をはじめ、様々なスポーツ活動を実施した。	2	多くのイベントを開催しているが、特に多摩湖駅伝大会では季節外れの大雪の中実施した。 また、東京都の補助金を活用し、オリパラの機運醸成と駅伝大会を盛り上げるため、ゲストランナーを招致したことで大会の活性化を図ったため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 11	体育施設運営 事業	平成29年度は東京都の補助金等を活用し、市民体育館冷房設備設置工事や上仲原公園野球場改修工事を実施した。	3	指定管理者や団体と細かく調整したことでスムーズに工事を実施することが出来たため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 12	いきいき ヘルシー教室	いきいきヘルシー教室 年2回 延53人（女性50人男性3人）	1	幅広い年代に周知するため市内の商業施設にポスターを掲示した。男性の参加が少ない。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-② 13	骨粗鬆症検診	対象者：40～70歳の5才節目の女性 受診者数 154人	1	健康カレンダーや市報で周知したが受診者の増加が見られなかった。厳寒期を避けるなど実施時期の工夫について検討する。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進					
4-1 飲酒【分類番号1-④-1】					
分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価 理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
1-④ -1 1	普及啓発・情 報提供	妊娠届出時に妊婦の飲酒状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の飲酒割合 時々飲む18.5% 飲む 4.2%	1 妊娠届出時の飲酒状況の割 合が増加した。近年、増加 傾向にあるため、面接時に 妊娠、胎児など飲酒が健康 へ及ぼす影響についての正 しい知識の普及啓発を工夫 するなど妊娠中の禁酒教育 をより丁寧に行う。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進						
4-2 喫煙（3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）						
【分類番号1-④-2】						
分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
1-④ -2 1	妊娠育児期間 及び乳幼児 学童への たばこ対策	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 2.0%	1	妊娠届出時では喫煙状況が 若干増加した。喫煙者と家 族に対し、妊娠・胎児、健 康へ喫煙が及ぼす影響につ いて、面接時にパンフレッ トなど、より具体的な啓発 により、禁煙教育を行う必 要がある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-④ -2 2	建物内におけ る禁煙	施設等における禁煙を実施した。 禁煙の表示を行った。	3	平成30年1月から市民体育 館に設置してあった灰皿の 撤去を含め、市の行政建物 内における禁煙を全施設で 実施できたため。（分煙含 む）	1 ・ ② ・ 3	施設管 理 各課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

5 歯と口の健康づくり【分類番号1-⑤】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年版>

乳幼児健診

H28年度

1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
う蝕有病率	一人当たり虫歯数	う蝕有病率	一人当たり虫歯数
0.3%	0	11.7%	0.33

小中学生

H28年4月1日から6月30日までの健康診断結果による

小学校		中学校	
被患率	未処置者数	被患率	未処置者数
60.57%	30.98%	52.14%	24.95%

中学校第1学年 DMFT指数(1人平均むし歯計件数)

各年4月1日から6月30日までの健康診断結果による

H28年	H27年	H26年	H25年
1.31	1.57	1.32	1.21

歯周疾患検診

H27年度

受診者数	要精検者数	要指導者数	異常を認めず
291	271	8	12

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由	ヘルス プロモ- ション	担当課
				課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性		
1-⑤ 1	妊婦歯科 健康診査	希望者に健診票を発行し、市内指定 歯科医療機関で実施した。 受診者数 233人	2	両親学級等の事業で妊婦歯 科健診の重要性の周知を 図ったところ、前年度より 受診者数は増加した。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 2	母子保健事業 歯科相談	むし歯予防教室 年6回 延89人 歯科健康診査 年30回 延605人 歯科卒業教室 年6回 延42人	3	29年4月より、虫歯予防を 効果的に実施するため歯科 健康診査と予防処置を同時 実施することとしたため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 3	歯周病予防 講演会	年1回開催「歯周疾患検診の役割と 歯周病治療の実際について～市の検 診で何が分かるのか？歯周病の治療 法について知ろう！」受講者数7人	2	ポスターを親しみやすいデザイ ンとし、参加者には口腔ケアの 実践のため歯ブラシを配布した が、受講者数は増加しなかつ た。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 4	歯周疾患検診	対象者：40. 50. 60. 70歳の市民 受診者数：372人	2	40歳の市民には受診票を送 付し、申込不要として、利 便性の向上を図った。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 5	歯科医療連携 事業	訪問歯科診療を推進した。 新規相談件数 81件	2	各介護施設等への積極的な 周知により、新規相談件数 が増加した。今後も関係機 関などへの周知を継続し事 業の認知度を向上させる。	1 ・ ② ・ 3	健康課
1-⑤ 6	歯科衛生指導 職員派遣	2-②14及び2-②36におい て、市内の保育園等から依頼を受 け、歯科衛生指導（歯みがき指導 等）を市の歯科衛生士が実施した。 依頼数13件 参加人数666名	2	媒体等を新しく作成し、視 覚的效果の強化を図った。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり【分類番号2-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年版>

年代別自殺件数・自殺死亡率

平成28年人口動態統計から

総数		男		女		年代別件数			
件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	10~29	30~49	50~69	70以上
12	14.1	7	16.8	5	11.6	1	4	2	5

評価の基準	3：順調
	2：概ね順調
	1：着手

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモーション	担当課
2-① 1	メンタル ヘルス研修	職員の心の不調の予防とケアに対する取り組みの一環として、メンタルヘルス研修を実施した。 受講者数：45人	2	管理職を対象に部下のメンタルヘルス対応について学ぶ研修を新規に実施し、メンタルヘルスに対する理解を深めることができた。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 2	健康管理	職員等の定期健康診断、胃検診、VDT検診、大腸がん検診、採用時健診、特定保健指導等を実施した。 受診者数合計：908人	2	職員等の健康管理を適正に実施することができた。胃検診、VDT検診の受診希望者が減少傾向であることは課題である。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 3	メンタル ヘルス対策事業	臨床心理士によるメンタルヘルス相談を実施した。実施回数：36回 利用人数：96人 ストレスチェックを実施した。受検者数：606人 受検率：90.9%	3	月3回メンタルヘルス相談を安定的に実施できたため。ストレスチェックの受検率も前年度から1.2%増加したため。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 4	職場環境整備	①産業医による職場巡視を実施した。実施回数：7回（健康相談等がある場合は実施せず） ②衛生委員会を開催した。開催回数：7回（4月と議会月は実施せず）	2	職場環境を適正に維持するため、職場巡視と衛生委員会を実施することができたが、環境改善には費用が伴うことが多いのが課題である。	1 ・ ② ・ 3	職員課
2-① 5	福祉事務所 嘱託医	一般医及び精神科医による、生活保護医療要否意見の審査等を実施した。 H29審査日数 一般医：51日 精神医：24日	3	審査体制は現状では過不足なし。必要に応じて助言等を求めるなどの体制も構築できているため、現状を維持。	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課
2-① 6	法外援護事業 ・健康支援	健康管理器具の購入費支給等を実施した。 H29利用世帯：2世帯	2	必要に応じた対応を行っているが、引き続き被保護者への聞き取りなどから、需要に対応する体制を充実させる必要がある。	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課
2-① 7	生活保護費 支出 ・医療扶助	被保護世帯に対する、原則的に無料な医療等の提供をした。少子高齢化の進展により、前年度比増額となっている。 H29医療扶助費：1,461,583千円	2	必要な医療を提供することができている。H29年度末には被保護者への医療費通知を開始し、自身の健康管理への意識づけを行なった。	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-① 8	中国残留邦人等 生活支援 給付・支出状況 医療支援、出産 支援	中国残留邦人支援世帯に対する、原則的に無料の医療等の提供をした。給付対象者の減により、前年度比減額となっている。 H29医療支援費：109千円	2	給付対象者の高齢化により関係機関との連携が必要。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-① 9	ひとり親家庭 ・女性相談 ・医療健康相談	ひとり親及び女性の、生活一般相談（医療・健康・家庭等）を177回行った。 インターネットの普及により、相談件数は上下しながら緩やかに減少している。	3	ひとり親及び女性の悩みに対し、問題点の整理や適切なサービスを紹介する等により、こころの健康づくりに寄与することができた。 ハローワークとの連携による自立促進事業も行った。	① ・ 2 ・ 3	子育て 支援課
2-① 10	教育センター 運営事業 さわやか教育 相談「精神・ 身体に関する」	市内に在住又は在学する児童・生徒の教育上の諸問題に関する相談活動を通じて、一層の教育相談の充実を図ることを目的に実施した。 （精神・身体に関する相談件数 6件） ※前年と比較し「不登校に関する」及び「性格・行動に関する」相談が増加した。	3	「不登校に関する」及び「性格・行動に関する」相談が増加したことに伴い、児童・生徒を対象とした心理治療のみならず家族を対象とした対応も展開し、各学校との連携も強化できたため。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課
2-① 11	教育センター 運営事業 スクールソー シャルワー ーカー相談事業 「精神・身体 に関する」	問題を抱える児童・生徒の状況を的確に把握し、当該児童・生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関とのネットワークを活用して連携したり、問題の改善及び軽減を図ることを目的に実施した。（精神・身体に関する相談件数 4件）	2	児童・生徒の抱える問題に対して、1年スパンで支援計画を作成するようになり、問題解決に向けてより成果が成果が出るようになったため。	1 ・ ② ・ 3	教育 指導課
2-① 12	各図書館事業	自殺防止図書展の実施 中央図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H29. 9. 6～9. 20/H30. 3. 7～3. 22開催、展示点数208点、貸出点数138点、貸出率66. 3%（※中央のみCDを含む）	3	展示資料を手にとる方が多く、また児童書の冊数を増やしたことから、一般の方の関心を高めるきっかけとなり貸出率が増加したため。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 13		桜が丘図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H30. 3. 7～3. 22開催、展示点数51点、貸出点数44点、貸出率86. 3%	3	展示した図書が万遍なく借りられており、手に取って見られる方も多かったため。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 14		清原図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H30. 3. 7～3. 22開催、展示点数84点、貸出点数67点、貸出率79. 8%	3	展示図書を手にとる方が多く、貸出率も伸びたため。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 15	成人保健事業 こころの健康 づくり事業	①こころの健康相談年10回延10人 ②こころの健康づくり講演会年3回 1回目 女性の心の健康15人 2回目 働き盛りの心の健康13人 3回目 老いと心の健康25人 ～ゲートキーパー養成研修兼～延53人 ③心の体温計（セルフメンタルチェックシステム） 年間アクセス数 26450件 ④パネル展 市役所1Fロビーにて、H30. 3. 12～3. 16自殺対策パネル展示を行った。	2	講演会のテーマを「女性」「働き盛り」「高齢期」とライフステージ毎に設けそのテーマに応じた聴講者の参加があった。パネル展や市報等で事業の周知をし、普及啓発ができた。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

2 次世代の健康・母子保健対策の推進【分類番号2-②】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年版>

① 乳幼児健診

H27年度

3～4か月児健康診査		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
受診率	有所見率	受診率	有所見率	受診率	有所見率
95.2%	30.7%	94.8%	20.1%	92.7%	25.8%

② 定期予防接種

平成29年度

四種混合		ポリオ		二種混合		麻しん・風しん		日本脳炎			BCG
第1期 初回計	第1期 追加	第1期 初回計	第1期 追加	第2期	第1期	第2期	第1期 初回計	第1期 追加	第2期		
99.0%	94.9%	-	-	72.1%	97.7%	97.8%	109.7%	105.7%	102.5%	97.9%	

Hb感染症		小児肺炎球菌感染症		ヒトパピローマウイルス感染症			水痘		B型肝炎		
初回計	追加	初回計	追加	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第1回	第2回	第3回
99.6%	99.9%	98.9%	99.6%	0.0%	0.0%	0.0%	97.6%	82.1%	97.9%	98.3%	104.4%

ポリオ(第1期初回計、第1期追加)は接種実績はあるが、対象者数が得られないため接種率が算出できない。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 1	法外援護事業 ・次世代 育成支援	塾代支給等を実施した。支給対象年 齢者の減に伴い、前年度比で利用者 減。 H29利用世帯：6世帯（対象世帯は17 世帯）	2	制度利用者の進学率は 100%。制度利用がない世帯 は保護者の意向等もある が、極力利用する様に個別 に声をかけるなどする必要 がある。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-② 2	生活保護費 支出・ 出産扶助	被保護世帯のうち、助産制度が利用 できなかった世帯がH29年度は発生 したため、原則的無料の出産費用を 提供した。 H29出産扶助費：293千円	2	助産制度活用も含め、被保 護者の妊娠等の連絡があつた 場合は、個別かつ至急に 健康課や保育課と連携をと る必要がある。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-② 3	乳幼児 医療費 助成事業	義務教育就学前の乳幼児を養育して いる方に、乳幼児に係る保険診療の 自己負担分の医療費を助成した。 対象乳幼児数(3月末現在)：4,931人	3	乳幼児の医療に係る負担を 軽減することができたた め。 制度の周知を図るため、前 年度と比較し、よりわかり やすいパンフレットや通 知、ホームページの作成に 努めた。	1 ・ 2 ・ ③	子育て 支援課
2-② 4	義務教育 就学時 医療費 助成事業	小・中学生の児童を養育している方 に、児童に係る保険診療の自己負担 分の医療費の一部を助成した。 対象児童数(3月末現在)：5,717人	3	義務教育就学児の医療に係 る負担を軽減することがで きたため。 制度の周知を図るため、前 年度と比較し、よりわかり やすいパンフレットや通 知、ホームページの作成に 努めた。	1 ・ 2 ・ ③	子育て 支援課
2-② 5	子ども家庭 支援センター 児童家庭相談	【相談件数】 新規161件、延べ7,776件 【出張相談(児童館等8か所)】 実施回数48回、相談件数34件 【専門相談】 巡回相談実施回数43回 心理相談件数 183件	3	子育てに関するさまざまな 相談に対応し、必要なサー ビスの提供及び関係機関と の調整等の他、出張相談体 制を継続して整備し、積極 的な働きかけにより子ども の安定した生活の確保や親 の育児支援の向上につな がった。今後、専門相談 (特に巡回相談)の充実が 課題である。	① ・ ② ・ 3	子育て 支援課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 6	子育てひろば ・子育て相談 ・子育て啓発	【子育てひろば（子育て啓発事業）】 ※大和南保育園／れんげ上北台保育園／玉川上水保育園 ・園内開放：79回／177回／188回 ・育児講座：9回／10回／7回 ・教室等：19回／60回／47回	3	市内3保育園に事業委託して、子育て園内開放や育児講座等を広域にわたり計画的に実施したことで、孤立しがちな子育て家庭の支援を図ることができた。今後、内容の充実等による利用者増を図ることが課題である。	① ・ ② ・ 3	子育て支援課
2-② 7	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭またはそれに準ずる家庭で、18歳に達した日の属する年度の末日まで（一定の障害がある場合は20歳未満）の児童を養育している方及びその児童に係る保険診療の自己負担分を助成した。 対象世帯・対象者数（3月末現在）：623世帯 1,365人	3	ひとり親家庭等の医療に係る負担を軽減することができたため。 制度の周知を図るため、前年度と比較し、よりわかりやすいパンフレットや通知、ホームページの作成に努めた。	1 ・ 2 ・ ③	子育て支援課
2-② 8	保育園健康管理状況	市内保育施設23園において健康診断を年2回実施した。	3	平成29年度に新規開園した保育施設1園についても、年2回の健康診断を実施し、児童の健康管理に役立っている。	1 ・ ② ・ 3	保育課
2-② 9	病児・病後児保育事業	病中又は病後回復期の児童を保育する事業であり、市内医療機関に委託した。 実施人数：1,183人	3	例年と同様に事業を実施し、保育が必要な世帯の子育て及び就労の支援を図った。なお、市外在住の方の登録・利用数が前年比で増加し、本事業を幅広く周知・浸透させることができた。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 10	助産実施事業	保健上入院して分娩する必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦に対して助産施設（病院等）で助産を実施し、その費用の助成を行った。 平成29年度実施人数 5人（内2人都立利用） 事業対象世帯は、妊産婦がいる生活保護世帯や、非課税世帯。	3	例年と同様に、申請があった事業対象世帯に対し、助成を実施した。この事業について、市民からの要望、意見等は特になかったが、引き続き、前年度の事業を振り返り、改善点を模索していく。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 11	やまとあけぼの学園 ・健康管理状況	小児科医診察：11回 整形外科医診察：11回 神経科医診察：11回 理学療法訓練：12回 作業療法訓練：22回 言語療法訓練：12回 音楽療法訓練：23回 心理相談観察等：33回 尿検査：1回 歯科健康診査：1回 発育測定：12回	3	嘱託医による診察と各種療法士による訓練、心理相談員による発達検査及び相談、発育測定等を実施し、児童の療育と健康管理に役立っている。多くの専門職と保育士との連携強化に努め、療育の充実を図る。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 12	やまとあけぼの学園 ・遊びの会 ・外来相談	①遊びの会 たんぽぽグループ延べ参加幼児数：232人 にこにこグループ延べ参加幼児数：51人 ②外来相談延べ参加幼児数：37人	2	①、②とも月2～4回程度の親子参加の開催で、保護者からの聞き取りにより健康に関するアドバイス等を行っている。保育以外の専門職による保健指導の充実が課題である。	① ・ 2 ・ 3	保育課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 13	狭山保育園 ・健康管理 状況	(園児対象) ・発育測定12回/年 ・健康診断(0歳児)12回/年、延 78人/106人、(全園児)2回/年、 延175人/178人 ・歯科健康診断1回/年、延84人 ・歯科衛生指導1回/年、延40人 ・視力検査(3歳以上児)1回/年、 延50人	3	嘱託医による診察及び相談 等を実施することにより園 児のほとんどが受診でき、 児童の健康管理に役立てた ため。	1 ・ ② ・ 3	保育課
2-② 14	児童館運営 事業 子育て支援 事業	各児童館において、乳幼児サークル や乳幼児を対象とした行事を実施し た。 総事業数35事業 参加延べ人数7,544人	2	前年度より総事業数が2 件、参加延べ人数が619人 増加した。 保護者同士の交流の場を設 けたことにより、保護者の 悩みや不安の解消の一助と したため。	1 ・ ② ・ 3	青少年 課
2-② 15	就学指導事業 就学時 健康診断	小学校入学予定者の健康状況等を的 確に把握するため、内科・歯科・視 力・面談等を実施した。 受診者数718人	3	対象者のほとんどが受診 し、健康状態の把握がで きた。今後も入学予定者の健 康状況の把握に努める。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課
2-② 16	健康管理 事業 学校保健 運営連絡会	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、 学校関係者参加の「学校保健運営連 絡会」を開催した。プール指導の可 否基準の確認、学校医等による助 言、学校医による講演を行った。 参加者数31人	2	学校関係者と学校医等との 情報共有を図れたが、参加 者が少なかった。対象者全 員が参加できるような日程 調整を行うことが課題で ある。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課
2-② 17	健康管理 事業 小学校環境 衛生検査	児童及び教職員の健康の保持・増進 を図るため、学校薬剤師等による環 境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 全校全項目 適	3	最終的には全校「適」と なったが、再検査を実施し た項目・学校があった。 今後も学校環境衛生維持管 理に努める。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課
2-② 18	健康管理 事業 小学校定期 健康診断	児童の健康の保持・増進を図るた め、定期健康診断(身長・体重・視 力、歯の疾患、耳鼻咽喉疾患、結 核、心臓、側わん症等)を行った。 受診者数4,463人	3	児童の健康保持・増進につ なげられるよう、定期健康 診断の結果を文書等により お知らせした。引き続き、 異常があった全児童が医療 機関で受診するよう促して いく。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課
2-② 19	健康管理 事業 中学校環境 衛生検査	生徒及び教職員の健康の保持・増進 を図るため、学校薬剤師等による環 境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気環境 全校全項目 適	3	最終的には全校「適」と なったが、再検査を実施し た項目・学校があった。 今後も学校環境衛生維持管 理に努める。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課
2-② 20	健康管理 事業 中学校定期 健康診断	生徒の健康の保持・増進を図るた め、定期健康診断(身長・体重・視 力、歯の疾患、耳鼻咽喉疾患、結 核、心臓、側わん症等)を行った。 受診者数2,072人	3	生徒の健康保持・増進につ なげられるよう、定期健康 診断の結果を文書等により お知らせした。引き続き、 異常があった全生徒が医療 機関で受診するよう促して いく。	1 ・ ② ・ 3	教育 総務課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモ ーション	担当課
2-② 21	研究奨励事業・公立学校研究会補助金研究部会	小学校体育 「一人一人が運動の楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習～主体的・対話的な学習を通して～」 本事業は、課題となっている教育内容について、校内研究活動を奨励することで本市教育の充実に寄与することを目的に、当該研究活動の運営に係る経費を補助した。	3	毎年度テーマを決め研究している。今年度は、講師の講話や前任研究員の模範授業を参考に「体づくり運動」「器械運動」「ボール運動」を3領域で提案授業をおこなった。その成果は着実に本市教育の充実に寄与している。（小学校体育部会）	1 ・ 2 ・ ③	教育指導課
2-② 22	研究奨励事業・公立学校研究会補助金研究部会	小学校学校保健 「児童の健やかな心身の発達をめざして～食育の充実と食物アレルギーのより良い対応について～」 本事業は、課題となっている教育内容について、校内研究活動を奨励することで本市教育の充実に寄与することを目的に、当該研究活動の運営に係る経費を補助した。	3	毎年度テーマを決め研究している。今年度は、食物アレルギーに関する保健指導の内容や除去食対応について検討及び情報共有を行った。食物アレルギーシュミレーションや食物負荷試験の研修を行い食物アレルギーについて理解が深まった。その成果は着実に本市教育の充実に寄与している。（小学校保健部会）	1 ・ 2 ・ ③	教育指導課
2-② 23	郷土博物館事業・プラネタリウム 特別投影：もうすぐママのプラネタリウム	妊婦にリラックスしてもらう目的で、プラネタリウムで音楽を流しながら、星空の話をした。29年度は本事業は実施せず、ひよこプラネタリウムとして実施した。	3	参加希望がなかったため、ひよこプラネタリウム（乳幼児連れ向け）事業と統合したため。ひよこプラネタリウムは継続して実施する。	1 ・ 2 ・ ③	社会教育課
2-② 24		蔵敷公民館事業「美ラク抱っこ講座」 全2回 延31名	2	0歳児親子が参加できる内容を前年度とは違うテーマで取り上げた。親子でコミュニケーションを図れる機会となった。市内全域から参加があったが、単発事業のため継続性はないので自主活動には結びつかないのが課題である。	1 ・ ② ・ 3	中央公民館
2-② 25	各公民館活動	狭山公民館事業 市民企画講座 親子講座「ハッピータイム」 全5回 延参加者数：76名	2	前年度はわらべうたや絵本の読み聞かせ、ベビーチャイルドマッサージを行ったが、今年度は5回講座のなかで、親子で公園を散歩したり、工作や楽器遊びを体験し、心と身体をリラックスさせる機会となった。市内全域からの参加があり、参加者同士のよい交流の場となった。	1 ・ ② ・ 3	中央公民館
2-② 26	母子保健事業 健康教育 両親学級	妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の健康管理、出産、新生児の保育・栄養等についての講義やグループワークを行った。 父親が子育てに積極的に関わり、育児への意識を高めてもらうため、第3回目は土曜日に開催した。 6回（延18日）開催 参加人数 実：153名 延352名	2	参加しやすいようにコースの内容を見直した。産後に同窓会として参加する回を新設し、妊婦と産婦が交流会し、出産や育児のイメージをもてるようにした。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 27	予防接種事業	対象年齢に達した子どもに各疾病の定期予防接種の勧奨を行った。 <平成29年度接種率> MR第1期 97.7% (678/694) MR第2期 97.8% (740/757) ※接種者数/新規勧奨発送数	2	MRについては、初回の案内に加え、未接種者に対し決め細かな勧奨を実施しており、国が目標としている接種率95%をクリアしているため。	1 ② 3	健康課
2-② 28	母子保健事業 歯科相談 (再掲)	むし歯予防教室 年6回 延89名 歯科健康診査 年30回 延605名 歯科卒業教室 年6回 延42名	3	乳幼児健診の集団指導の際に、歯科保健事業の紹介を積極的に行なった。	① 2 3	健康課
2-② 29	妊娠届出 母子健康 手帳交付	妊娠届出 661名 (再掲 11週以内 91.2%) 母子健康手帳交付 (再交付含む) 667件	2	11週以内の妊娠届出率は減少している。健全な妊娠経過のため、母体の安全、胎児発育の確認などのため妊娠週数に応じた妊婦健診の受診を始めてもらうために、速やかな妊娠届出の必要性の啓発が課題。	① 2 3	健康課
2-② 30	妊婦健康診査	健診受診票1~14回及び超音波検査、子宮頸がん検診を委託医療機関にて実施した。 受診者数延 8,625名 また、里帰り等受診票未使用者へ助成金を支給した。 支給人数 120名	3	里帰り等の助成金申請については、ホームページ・市報、母子手帳交付時の面接にて周知の強化を図った。	① 2 3	健康課
2-② 31	妊産婦 訪問指導 新生児 訪問事業	妊産婦・新生児訪問指導を実施し、安心して育児に望むことが出来るように支援した。 妊婦 延8件 産婦 延661件 新生児 延636件	2	新生児訪問指導を早期に全数実施できるように、出生通知票受理後の事務手続き等を速やかに行う必要性の啓発に努めた。	① 2 3	健康課
2-② 32	乳幼児 健康診査	3~4か月児健康診査 受診者数714名 (受診率95.7%) 1歳6か月児健康診査 受診者数 658名 (94.8%) 3歳児健康診査 受診者数 684名 (92.3%) 5歳児健康診査 受診者数 663名 (84.4%)	2	高い受診率を維持できている。未受診者については、受診勧奨をアプローチするとともに子育て部署と連携しながら状況把握に努めた。	① 2 3	健康課
2-② 33	乳幼児 健康診査 継続事業	発達健康診査 年34回 受診者延 169名 経過観察健診 年11回 受診者延 54名 経過観察発達相談 年127回 相談者数延 409名	3	就学までの継続支援をよりきめ細かに行なった。充実した事業を継続するために従事する専門の医師や心理相談員の体制の確保に努めた。	① 2 3	健康課
2-② 34	母子保健事業 健康教育 育児学級	乳児期の育児・離乳食に関する母親の不安・悩みの解決と育児の仲間作りの場として開催した。 対象者：1歳未満の児を持つ育児不安を抱える母親等 開催回数：8回 参加者数： 実12名 延38名	2	乳児健診等で不安の多い母親に教室を案内したが参加へ至らないケースがあり参加人数が減少傾向にあるため。グループ参加に至るまでの継続した支援が必要である。	① 2 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 35	母子保健事業 健康教育 職員派遣	児童館や自治会、育児サークル等に 市の保健師等を講師として派遣し た。 派遣団体数：15 保健栄養関連：延4回 参加者81名 歯科関連：延11回 参加者620名	2	歯科関連では、使用媒体を 新たに作成し、効果的な指 導に努めたため。 栄養関連では、離乳食から 夏休みの親子イベントま で、幅広い年齢を対象とし た。保健関連では、離乳食 について栄養士と保健師と 複数の職種で重層的な健康 教育を行った。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 36	母子保健事業 個別相談 すこやか広場	乳幼児期の健康・栄養・発育発達・ 疾病等の知識の習得と育児の仲間作 りの場として開催し各専門職による 個別相談を行った。 すこやか広場開催数：32回 保健相談 61件 栄養相談 39件 歯科相談 1件	2	母子の健康の推進のため、 新生児訪問等でチラシを配 布し周知に努め、相談件数 が増加したため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 37	母子保健事業 特定不妊 治療費助成	高額な不妊治療を受けた者の医療費 の負担軽減を図り、少子化対策に寄 与することを目的とし助成した。 助成件数：79件	3	従前より提出の必要があっ た住民票を省略し、利便性 の向上を図ったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-② 38	母子保健事業 未熟児 養育医療 給付	医師が入院養育の必要と認めた未熟 児に対し、医療の給付を行った。 申請件数：15件 給付件数（延）：43件	2	課税資料の提出を省略し、 利便性向上を図ったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-② 39	子育て 応援事業	育児パッケージ 申込者数 553名 配布者数 532名	1	各種事業にてサンプルを掲 示し、PRした。申込者と 配布者で人数に差がある が、次年度に配布している ため、全ての申込み者に対 し、パッケージ配布が実施 できている。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-② 40		子育て応援アプリの市報等で紹介 ダウンロード数804件 ワークショップの開催 参加者42名	2	子育て世代を対象にアプリ のワークショップを開催 し、利便性向上の情報収集 に努めたため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

3 高齢者の健康【分類2-③】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年版>

① 要介護等認定者

H29/3/31現在

要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		要介護計		認定者総数	
846	22.4%	597	15.8%	401	10.6%	386	10.2%	308	8.1%	2,538	67.1%	3,781	100.0%

要支援1		要支援2		要支援計	
650	17.2%	593	15.7%	1,243	32.9%

② 定期予防接種

平成29年度

インフルエンザ		高齢者の肺炎球菌感染症	
65歳以上	60~65歳未満	65歳	60~65歳未満
47.9%	47.1%	36.3%	7.7%

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由	ヘルス プロモー ション	担当課
				課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性		
2-③ 1	後期高齢者 医療事業 健康診査	東京都後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、市内外医療機関で健康診査を実施した。受診者数：6,799名	3	受診率の向上が課題であるが、市報等での周知に努め、受診券発送者数10,473名に対し、65.0%の受診率となり、前年度受診率64.0%を上回っているため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
2-③ 2	後期高齢者 医療事業 保健衛生 諸事業	被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部（上限1件23,000円）を助成した。申請者：142件	2	一定の費用負担が生じるため、助成件数の増加が課題であるが、助成件数136件となり、概ね横ばいであったため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
2-③ 3	高齢者 日常生活 支援事業 ・寝具の乾燥 及び水洗い	身体上の障害のため寝具の自然乾燥等が困難な65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に、寝具の乾燥及び水洗いを実施し、衛生と健康の保持を図った。利用者数：乾燥20人・水洗い16人	2	利用資格の消滅により、結果として利用者が減少したため。近年、利用者が減少しているため、市報等により、市民に情報提供していく必要がある。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 4	高齢者安心・ 見守り食事 サービス	心身機能の低下により、買物及び炊事が困難と認められる65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に、定期的（年末年始を除く。）に食事を配達するとともに、利用者の健康状態、生活状況等における異常の有無を確認するなど安否確認を行うサービスを提供した。利用者数：72人 延配食数：9,562食	3	利用者数、延配食数ともに平成28年度を上回ったため。事業の利用は、対象者からの申請に基づくものであることから、引き続き機会あるごとに事業の周知に努めたい。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 5	高齢者 日常生活 用具の給付	介護保険法に規定する要介護又は要支援に該当しない65歳以上の高齢者で、生活機能が低下したと認められるものに、自立を支援するための日常生活用具を給付するものであるが、給付実績はなかった。給付件数：0件	2	前年度同様に、市報、ホームページ等を活用し、一般高齢者施策の周知に努めたため。近年、申請が無いことから事業の方向性を検討する必要がある。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 6	高齢者 住宅改修の 給付	65歳以上の高齢者に、住宅改修予防給付又は住宅設備改修給付を行い、在宅の高齢者の住宅内における転倒予防、動作の容易性の確保、行動範囲の拡大の確保、介護者の介護の軽減等を図った。 住宅改修予防給付：1件 住宅設備改修給付：9件	3	前年度同様に、市報、ホームページ等を活用し、一般高齢者施策の周知に努めたため。事業の利用は、対象者からの申請に基づくものであることから、引き続き機会あるごとに事業の周知に努めたい。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 7	老人性 白内障 眼鏡等 購入費助成	老人性白内障治療のための手術を受けた65歳以上の高齢者に対し、手術後に使用する特殊眼鏡等の購入に要した費用相当額（特殊眼鏡40,000円以内、コンタクトレンズ25,000円以内）を助成し、高齢者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図るものであるが、助成実績はなかった。 助成件数：特殊眼鏡0件、コンタクトレンズ0件	2	前年度同様に、市報、ホームページ等を活用し、一般高齢者施策の周知に努めたため。なお、平成28年4月1日から対象者の範囲を見直し（縮小）した。近年、申請が無いことから事業の方向性を検討する必要がある。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 8	認知症 サポーター 養成講座	認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアを要請するため認知症サポーター養成講座を開催した。 定期開催 4回 団体向け開催 6団体8回 市職員向け開催 1回	3	定期開催場所については、前年度実績を参考にし、市内全域の方が参加しやすいよう分散させて実施したため。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 9 新規	東大和元気ゆうゆうポイント事業	介護予防活動に参加した65歳以上の方等を対象に、活動1回につき1ポイントを付与することにより、介護予防活動への参加を促進し、高齢者の健康寿命の延伸と介護予防活動の活性化を図った。また、参加者が取得したポイントについては、交換期間中に、所定のポイントごとに景品と交換を行った。事業は、平成29年12月1日から開始し、東大和市社会福祉協議会に委託した。 登録活動数：51団体 延参加人数：10,367人 景品交換数：372件 ※延参加人数及び景品交換数には、特別事業分を含む。	2	事業開始年度につき、課題等については、現在、情報を収集し、精査中である。	① ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 10	老人クラブ 育成事業	老人クラブ及び老人クラブ連合会に対して、補助金を交付することで高齢者の福祉の増進を図った。 補助金交付クラブ数：連合会1団体、老人クラブ16団体	3	補助金を支出することで、高齢者の福祉の増進を図ることができたため。引き続き運営に対する総合相談に随時対応し、必要な助言を継続したい。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 11	高齢者 見守り ぼっくす事業	高齢者の在宅生活の安心を確保するため、高齢者の見守り支援を専門とした相談窓口として市内3か所に設置している。高齢者やその家族、地域住民等からの相談に応じ、必要な支援を行うとともに、民間緊急通報システムの設置相談に応じた。 見守り対象者数：711(3か所合計) 民間緊急通報システム設置世帯数：179世帯(3か所合計)	3	相談員が地域の高齢者宅を戸別訪問し、地域での見守りを必要とする高齢者に対し、関係機関と連携しながら支援を行ったため。なお、民間緊急通報システム設置世帯数については、年々増加している。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 12	介護保険 事業 一般介護予防 事業	・介護予防把握事業 平成29年4月1日時点で75歳以上の奇数歳の者に、基本チェックリストを配布し、生活機能についての確認を行った。確認の結果、介護予防に取り組むことが望ましいと判断された者に対し、介護予防普及啓発事業の案内を行った。 また、最終的に返信がなかった者に対しては、高齢者ほっと支援センター及び高齢者見守りぼっくすが状況確認を行った。	3	平成29年度から、対象者をより介護のリスクがあると考えられる75歳以上に設定し、より効率的に介護予防普及啓発事業を案内できるようにしたため。 また、返信がなかった者への対応は、平成29年度から実施を開始している。	1 ② 3	高齢 介護課
2-③ 13	介護保険 事業 一般介護予防 事業	・介護予防普及啓発事業 65歳以上の要支援・介護認定を受けていない者を対象に、いきいき運動プラス（1期14回・年3期）、楽しみマッスル教室（1期14回・年3期）、東大和元気ゆうゆう体操in市役所中庭等を実施した。	3	平成29年度から開始した総合事業の開始に伴い、新たに要支援、要介護認定者を除く第1号被保険者を対象とした教室を開催。市民からのニーズが高く、介護予防の効果の高い教室を実施したため。	1 ② 3	高齢 介護課
2-③ 14	介護保険 事業 一般介護予防 事業	・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの養成・支援等） 市民を対象に、東大和元気ゆうゆう体操普及推進員養成講座及び介護予防リーダー養成講座を実施し、体操普及推進員9名、介護予防リーダー8名を養成した。また、介護予防リーダー及び体操普及推進員に対し、連絡会（体操普及推進員連絡会4回、介護予防リーダー連絡会3回）を実施する等活動支援を行った。	3	介護予防活動の中心的な役割を果たす介護予防リーダーや、東大和元気ゆうゆう体操の普及啓発を推進する体操普及推進員の養成に組んでいる。平成29年度は介護予防リーダー養成講座、体操普及推進員養成講座を実施したため。	① 2 3	高齢 介護課
2-③ 15	介護保険 事業 一般介護予防 事業	・地域介護予防活動支援事業（ボランティアポイント） 介護予防事業の一環として、介護支援いきいき活動事業を実施した。この事業は、健康で生きがいのある暮らしをすることを目的に、高齢者の方々が介護支援活動を通じて地域貢献や社会参加をするものであり、登録者101名中、86名が活動を行った。	3	介護支援いきいき活動事業は、登録者、活動者、受入施設数が平成27年度から増加していないため。市民に対して、ボランティア活動への理解を広げ、活動者数を増やす必要がある。	① 2 3	高齢 介護課
2-③ 16	老人福祉館 運営事業	高齢介護課、介護予防事業の開催場所の提供をした。	2	介護予防事業で機能回復訓練室を活用してもらうことにより、地域の高齢者の方々の健康の増進、教養の向上が図れたため。	1 ② 3	地域 振興課
2-③ 17	各公民館活動	狭山公民館事業 高齢者「わくわく教室」全7回 延参加者数：146名	2	7回講座のなかで、おおむね60歳以上の方が軽体操や自然観察ウォーキングを体験し、生きがいづくりや仲間づくりの機会となったため。	1 ② 3	中央 公民館
2-③ 18 新規		蔵敷公民館事業 市民企画講座 「未・楽・生倶楽部」全7回 延参加者数：239名	3	7回講座のなかで、おおむね60歳以上の方を対象に表情筋トレーニングなど様々なテーマを取り上げ、生きがいづくりや仲間づくりの機会となったため。	1 ② 3	中央 公民館

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	評価の理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 19	各公民館活動	中央公民館事業 新堀地区会館で行う「第6回シニアクラスで学ぶ！楽しむ！」全6回 延参加者数：363名	3	概ね60歳以上の方が、医師から動脈硬化とフットケアについての知識を学ぶなど、様々な学習を通じて地域で生き生きと暮らしていくための機会となったため。	1 ・ ② ・ 3	中央 公民館
2-③ 20	予防接種 事業	対象年齢に達した高齢者に定期予防接種の勧奨を行った。 <平成29年度接種率> インフルエンザ 47.9%(10,960/22,900) 高齢者の肺炎球菌 36.2% (1,834/5,063) ※接種率(接種者数/勧奨発送数)	2	インフルエンザは、対象者全員にはがきによりご案内をしている。高齢者肺炎球菌については、対象年齢の方全員に予診票を送付しているが、任意での既接種者の把握ができず、接種率は参考値となるが、全国平均を上回っているため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-③ 21	歯科医療 連携事業 (再掲)	訪問歯科診療を推進した。 新規相談件数 81件	2	各介護施設等への積極的な周知により、新規相談件数が増加した。今後も関係機関などへの周知を継続し事業の認知度を向上させる。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

4 社会環境整備【分類番号2-④】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモ- ション	担当課
2-④ 1	シルバー人材 センター運 営・ 補助事業	高齢者の就業機会の拡大 ① 事業費の補助 27,091,872円 公益目的事業会計に係る人件費等 の補助を行った。 ② その他の経費の補助 10,371,539円 法人会計管理運営に要する人件費 等の補助を行った。	2	定年退職の年齢が上がって きているため、会員が減少 傾向にある。会員数増のため に、各種活動を行い、高齢者 就業のための機会拡大に努 めたため。	① ・ ② ・ 3	福祉 推進課
2-④ 2	社会福祉 協議会運営・ 補助事業 ・ふれあいの まちづくり 事業	地域住民が福祉に理解と関心 をよせ、住民相互が助け合い、 安心して暮らせる福祉のまち づくりを目指した。 ① 人件費の補助 40,684,607円 ② ふれあいのまちづくり事業 費補助 7,903,670円 ③ 福祉祭補助 464,000円 ④ 地域福祉権利擁護事業補助 2,638,657円 それぞれの補助を行った。	2	地域住民が福祉に理解と 感心をよせ、住民相互が助 け合い、安心して暮らせる 福祉のまちづくりを目指す ための補助が行えたため。 特にふれあいのまちづく り事業については活動開始 から20周年であるため、 記念事業を各地区の担当者 と連携し行なった。(記念 誌の作成)	① ・ 2 ・ 3	福祉 推進課
2-④ 3	包括的・ 継続的ケア マネジメント 支援事業 医療介護 連携事業	在宅医療・介護連携推進のため の地域における多職種連携 研修会を2回実施した。	3	計2回の研修会では、市内 医療機関や介護保険サー ビス事業所の従事者等、多 職種の方々延べ200名が 参加した。地域包括ケアシ ステムの構築に向けた取組 内容が充実してきたことか ら、前年度の内容と比較して、 各事業の取組事例の報告等 と今後の事業展開に関する 内容が多く、グループワー クなどを取り入れることで 多職種間での連携推進と顔 の見える関係づくりに貢献 したため。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課
2-④ 4	消費者保護 対策事業 ・消費者相談 ：保健衛生品 保健福祉 サービス	消費者相談事業において、239 件中、保健衛生品3件、保健 ・福祉サービス11件の相談 に対応した。	2	消費生活相談員を配置し、消 費生活における市民の相談 に対応することができたため。 高齢者や女性を標的にした悪 質商法に関する相談が増えて おり、対応に苦慮している。 契約や支払い前に相談する よう呼び掛け、被害拡大の 防止を図っている。	① ・ ② ・ 3	地域 振興課
2-④ 5 新規	東大和ボラン ティア・市民 活動センター の運営補助	東大和市社会福祉協議会が行 う東大和ボランティア・市民 活動センター事業に対し、運 営に係る経費の補助すること によって、その運営を安定 かつ円滑にし、ボランティア 活動の推進に寄与した。 補助金確定額 6,015,498円	2	運営への補助により、市内 地域活動やボランティア活 動の発展、地域のつながり や社会参加の推進への援助 ができたため。課題は、補 助金交付によって得られる 事業の成果や効果の確認 が難しいこと。	① ・ ② ・ 3	地域 振興課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由	ヘルス プロモ ーション	担当課
				課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性		
2-④ 6	自治会等の活動支援	(1)自治会の活動、集会施設の維持管理における経費の一部に補助金を交付。 3,855,895円(補助決定団体:68自治会、3自治会集会所管理組織) (2)自治会長等会議の開催 日時:平成29年5月12日(金)午後7時~9時 参加:44自治会、2自治会集会所管理組織 (3)マンション管理組合理事長会議の開催 日時:平成29年5月26日(金)午後7時~8時30分 参加:10団体 (4)自治会活動の一部に係る市民センター、集会所等の先行予約を行い、団体の負担軽減を図った。 (5)一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業活用の促進 (助成団体数 11自治会・助成対象事業総額 1,884,236円) (6)自治会参加レポートの作成及びホームページ掲載 (7)東京都実施の「地域の底力発展事業助成」の周知 (8)自治会運営のマニュアル「自治会の手引き」を配布 (9)自治会リーフレットの作成 (10)自治会向け研修会の開催 日時:平成29年8月4日(金)午後7時~9時 参加:19自治会 (11)パネル展「地域をつなぐ活動の写真展」の開催 期間:平成30年3月28日(水)~4月7日(土)	2	自治会等の活動紹介や自治会等へ様々な支援や事業を実施し、既存の自治会等の発展や、個人の生きがいがづくり、社会参加のきっかけ、そして、地域住民同士が安心して暮らせるまちづくりにつながったため。 課題:活発な自治会とそうでない自治会と差があり自治会が抱える課題が多岐に渡ることや、会員減少を抑える効果的な支援がなかなか見つからないことが課題。前年度と比較して工夫した点:新規で自治会向け研修会やパネル展の実施やリーフレットの改訂を行った。	① ・ ② ・ 3	地域振興課
2-④ 7	狭山緑地管理事業・アスレチックコース	心身の健康維持向上及び健康育成を図るため、「安らぎの場」「憩いの場」としての環境を確保し、その維持管理に努めた。	2	本施設は市内外からの利用があり健康維持向上及び健康育成に役立った。遊具の修繕など管理の継続が必要である。	1 ・ 2 ・ ③	環境課
2-④ 8	こども広場管理事業	心身の健康維持向上及び健全育成を図るため、安全で利用しやすい環境を確保し、その維持管理に努めた。	2	施設の維持管理に努めているが、緊急対応により、除草等の維持管理に遅れがでてしまうことがあった。遊具等の修繕など管理の継続が必要である。	1 ・ 2 ・ ③	環境課
2-④ 9	社会教育関係団体体育成事業・社会教育関係団体連合体補助金	体育協会、文化協会などの市内7つの社会教育関係団体連合体の事業に対して総額3,770,400円の補助金を交付し、その活動を支援した。	2	社会教育関係団体連合体である各団体の意見交換を行う場を提供し、団体間の相互交流を図ったため。	① ・ 2 ・ 3	社会教育課
2-④ 10	社会教育関係団体体育成事業・東大和市民文化祭	市民の文化活動の振興と市民相互の交流を図ることを目的に、市・教育委員会・文化協会の三者による共催で実施した。	3	前年度の課題であった公民館ホールが暗いという意見に対し、スポットライトを導入し改善を図ったため。	① ・ 2 ・ 3	社会教育課
2-④ 11	健康づくり推進会議	市民の健康の維持・増進を図ることを目的として、東大和市健康づくり推進会議を開催した。	2	年6回開催し、健康のつどいの改善点実施内容の振返りを行った。また、作成中のウォーキングマップ等について意見交換を行った。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-④ 12	健康のつどい	本事業は、保健事業の普及啓発を図り、もって市民の健康の保持増進、健康意識の高揚に寄与することを目的として開催した。 参加数:753名	2	保健センターで福祉祭と同日に開催し、多様な内容で実施でき、市民の健康に対する意識の向上が図られた。今後も、興味をひく内容について検討する。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-④ 13	休日急患診療所運営事業	休日における急患の診療等の態勢を充実し、市民の健康の保持及び増進に寄与するため、東大和市休日急患診療所の管理運営を実施した。 2,018件	2	日曜日、祝日、年末年始に開所し、また、インフルエンザなど感染症流行時には職員体制を強化し、市民の初期救急診療に対応できたため。今後も、利用方法など分かりやすい周知に努めていく。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

1 がん対策の推進【分類番号3-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成29年版>

がん検診等受診率

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	H27年度
東大和市	1.1%	1.3%	4.1%	6.5%	10.5%	

評価の基準	3：順調
	2：概ね順調
	1：着手

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由	ヘルス プロモー ション	担当課
				課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性		
3-① 1	がん検診 事業	(検診名 受診者数 精検受診率) 胃がん検診 685人 95.2% 肺がん検診 1,168人 100.0% 子宮がん検診 1,439人 88.9% 乳がん検診 1,368人 87.4% 大腸がん検診 1,865人 86.0% 前立腺がん検診 502人 84.1%	2	肺がんと大腸がんのセット検診、乳がんと子宮がんのセット検診を新たに導入したため、前年度と比較して全てのがん検診で受診者数の増加が見られたが、大腸がん検診は受診者が定員を下回っているため。どのがん検診に焦点を当てて受診者を増やしていくかが来年度の課題である。	1 ・ ② ・ 3	健康課
3-① 2	健康づくり 講演会	講演会を開催した。 ～医療費から考える健康づくり～ 参加者数 18人	2	参加者のうち、40%の方が64歳以下と若年層の参加があり。市民のニーズも反映させたテーマを選定するため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

※精検受診率(精密検査受診率)：要精密検査者数から精密検査未受診者数及び精密検査未把握者数を除いた割合

5. 平成29年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防						
2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進【分類3-②】						
分類	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモーション	担当課
整理番号						
3-② 1	国民健康 保険事業 特定健康 診査事業	40歳から74歳までの加入者を対象として、市内外医療機関で特定健康診査を実施した。その結果により必要のある方に対して特定保健指導を実施した。 特定健康診査受診者数：7,424人、 特定保健指導利用者数：95人	2	受診券発送者数14,706名に対し、50.5%の受診率となっており、前年度受診率の50.6%に比べ△0.1P低下した。40歳代の若い世代の受診率の向上が課題となっている。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 2	国民健康 保険事業 保健衛生 諸事業	レセプトデータ・健診データを活用した医療費分析を行い、その結果から以下の保健事業を実施した。①糖尿病等重症化予防プログラム。プログラム終了者数：7名(2年目以降のフォロー22名)②保健師等による家庭訪問相談。訪問者数：18名③受診勧奨通知の送付。送付件数：174件④ジェネリック医薬品利用促進通知の送付。送付件数：6,213件。また、満40歳以上の被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部(上限1件23,000円)を助成した。申請者：462件	2	平成25年度に当事業を開始し、案内等の内容を変更し工夫したが、対象者と事業内容は毎年同じであるため、年々、参加者が減少している状況となっている。目立った地域特性は表れていない。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 3	国民健康 保険事業 健康づくり 相談	東京都国民健康保険団体連合会の協力を得て、健康づくり相談(骨密度・血圧・血管年齢測定、健康づくり相談等)を実施した。1回目：113人、2回目：83人	3	健康づくり相談への市民への関心は高く、市報への掲載や窓口への来庁者に参加を促しており、参加者は増えている。また、市民意識把握のため、アンケートの実施を開始した。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 4	被保護者健康 管理指導事業	無保険者等健康診査の受診結果から、要指導等の者に対して、業務委託の看護師等が定期的に健康管理指導を実施した。 H29指導実施実人数：45人	2	パネルなどを活用して対象者の理解を深めるための工夫を行なった。継続的な参加率も高く、被保護者の健康管理意識の向上及び将来的な重症化の予防が見込めるため。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
3-② 5	成人保健 事業 健康診査	若年層健康診査(20~39歳) 受診者数 318人 無保険者等健康診査(40歳以上) 受診者数 437人	2	若年層、無保険者等健康診査とも、受診者数はやや減少した。若年層は生活習慣改善の効果が特に期待できる層なので、受診者増加を図ることが課題である。他事業で来所者に案内するなど周知方法を検討する。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-② 6	成人保健 事業 検診、検査	【検診】 肝炎ウイルス検診 1,047人 骨粗鬆症検診 154人 歯周疾患検診 372人 胃がんリスク検査 501人	2	肝炎ウイルス検診は、未受診の者のみ対象であるため、受診者は徐々に減少傾向である。骨粗鬆症検診は定員を下回っており、受診者増加を図ることが必要。無関心層に受診を促すアピールなど周知方法について検討する。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
3-② 7	糖尿病 予防教室	②糖尿病予防教室 年2回 延57人、実29人 新規参加者（実17人） 65歳以下の参加者（実13人、延24人）	1	平成29年度も土曜日開催にしているが、65歳未満の参加や新規参加の増加が少なかった。働く世代の参加者を増やすため、周知方法の工夫を検討する必要がある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-② 8 新規	健康ウォーキングマップの作成	市民の健康寿命の延伸と運動の定着を目的に市内の見どころ等を巡るウォーキングマップを作成した。 作成部数10,000部	3	AEDやバス停、公衆トイレや高低差などを表示し安全面に配慮した作りとなり年度内に約8,000部を配布した。	1 ・ ② ・ 3	健康課
3-② 9 新規	健康ウォーキングの実施	健康ウォーキングマップを用いたイベントを実施した。 平成30年1月31日実施 参加者数 6人	2	天候に恵まれず、参加者が少なかったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防						
3 循環器疾患の対策【分類3-③】						
分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
3-③ 1	生活習慣病 予防教室 (再掲)	①生活習慣病予防教室 年2回 延47人	1	リピータの参加多いため。 若年健診(20~39歳)受診 者でリスクある人に案内送 付した。保育付き事業にし た。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成29年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防						
4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策【分類番号3-④】						
※「第1節 生活習慣の改善と推進 4-2 喫煙」の再掲						
分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価	評価の理由 [課題、前年度と比較して工夫した点 参加者の地域特性]	ヘルス プロモー ション	担当課
3-④ 1	妊娠育児 期間及び 乳幼児学童 へのたばこ 対策 (再掲)	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 2.0%	1	妊娠届出時では喫煙状況が 若干増加した。喫煙者と家 族に対し、妊娠・胎児、健 康へ喫煙が及ぼす影響につ いて、面接時にパンフレッ トなど、より具体的な啓発 により、禁煙教育を行う必 要がある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-④ 2	建物内 における禁煙 (再掲)	施設等における禁煙の実施 禁煙の表示の実施	3	平成30年1月から市民体育 館に設置してあった灰皿を 撤去を含め、市の行政建物 内における禁煙を全施設で 実施できたため。(分煙含 む)	1 ・ ② ・ 3	施設管 理 各課

東大和市健康増進計画

平成29年度実施状況報告書

平成31年3月

発行 東大和市福祉部健康課
〒207-8585

東大和市中心3丁目930番地
電話：042-563-2111（代表）

印刷 東大和市総務部文書課印刷室



東京
ゆったり日和
東やまと

東大和市健康増進計画

基本理念

生涯にわたって

健康でいきいきと

豊かな人生を

おくれるまち

東大和

